

いしかれん だより

第33号

2003. 3

石川県精神障害者
家族会連合会

〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内

TEL (076) 238-5761

FAX (076) 238-5762

30周年記念を迎えるにあたって

会長 西出 外次



十年一昔といわれますが、30年前の家族会が県連合会の組織を作り上げられた勇気と努力に感謝の意を表します。今も、真暗なトンネルの中で偏見の二文字の中で苦しんでおられる家族の方に家族会への入会のさそいをかけるよいチャンスだと思います。

平成5年障害者基本法が制定され三障害と肩を並べられるようになったがまだまだ充分とは言えません。それには会員数がものをい

うのではないでしょうか。

成年後見人制度もまだ十分に理解出来ない部分もあり、又、入院にしても何時起るかわからないこと等ありますが、家族が孤立することなく、家族会に入会して頂いて、地域支援を充実していくことが大切かと思ひます。

30周年の大きな節目を大切にし二重三重の大きな輪を皆の力で作り上げようではありませんか。

30周年記念行事 詩の朗読の『詩』を募集します

- ・ 7月6日(日) 10:00~15:30
- ・ コーラス・講演会・詩の朗読・シンポジウムなどの行事を予定しています。

お楽しみに！

- ・ 会員のみなさまから、当日朗読する「詩」を募集いたします。
 - ・ 募集作品：石川県精神障害者家族会連合会会員 自作の詩 1人1編
 - ・ 締め切り：平成15年4月30日
 - ・ 送り先：金沢市鞍月東2丁目6

こころの健康センター内 石家連事務局

みなさま こぞって応募してください

家 族 の 思 い

ちよに会 会員

平成5年に発病し、本人も家族にもなんで
どうしてという感じでした。年頃の娘として
おしゃれがしたかったのでしょうか。エステ
に通ってダイエットを始めました。しかしそ
の結果、生理も止まり精神的にも幻聴が聞こ
えるなどの不安定な状態になってしまいまし
た。満23才でした。主人と共に病院へ行き、
信じがたい精神分裂病と告げられ、平成5年
12月8日入院させました。翌日から私の病院
通いが始まりました。娘の事を考えると落ち
つかず、病気であることを受け入れ、病院へ
通うことが心のささえでした。目の前に居る
別人のような娘、1日も早く明るい娘に戻る
日を祈りつつ、平成6年3月19日の退院の日
を迎えました。でも病気との闘いはこの日か
らだったのです。ひたすら眠っている娘、祈
りつつ待ちました。家族会に入会、その後薬
の事、病気の事、家族会役員としての活動、
正しい病気のとらえ方、受け入れの大切さを
学び、娘も私も成長させていただきました。

多くの友達に囲まれ、32才の娘として今人
生を楽しんでいます。小学中学高校のころそ
れぞれの時期のお友達が誰一人去ることな
く、親しく交流して下さる事に感謝です。

親だけでは、これほどの快復は望めません
でした。娘も「この病気になってつらかった
けど良かったね。人の痛みがわかるようにな
ったから」と言ってくれます。これからも家
族会活動が続けていき、皆さんが早く快復出
来るような、家族としての対応の仕方を、お
話しさせていただきます。どうか病人の苦し
みをしっかりと受けとめて、決して「ガンバ
レ」や「早く仕事をしろ」など、急がせる声
がけをしないで、ゆっくりと本人のペースで

復活出来るように見守ってあげて下さい。家
族会に入会して、病気の正しい理解と対応の
仕方を学んで下さい。再入院させることのな
いように！



みそぎ会 会員

メンバー達の「どうぞ」の笑顔に誘われて
作業所の中へ。忙しそうです。作業内容はク
ッキー作り、箱折り、ハーネス等。メインは
クッキー作り。小麦粉、玉子、バターなどを
まぜ、ペースト状にしてスプーンで形を整え
る。その人その人なりの形に個性が出ます。

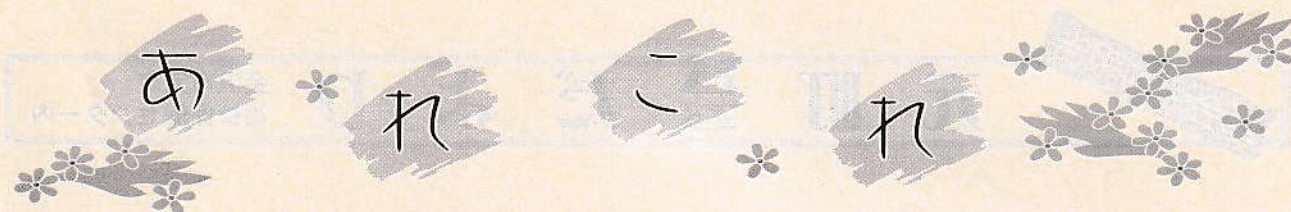
素朴な形に出来上がり注文に追われる事
も。香ばしい匂いが満ちあふれなごやかなム
ードがただよいます。「疲れない？大丈夫？」
スタッフの気くばりでメンバー達はマイペ
ースで作業をこなしています。

お昼の休憩時間は、パソコン、テレビ、雑
談などのひとときです。いろんな話題で盛り
上がり、そこに楽しみを感じてるようでコミ
ュニケーションの場でもあります。

行事として花見、マラソン運動会、研修旅
行、バザー参加等があります。又、家族会が
市から委託を受けている行事として、「町の
美化運動」「老人ホーム慰問」があります。こ
れにボランティアの方や、メンバーさんも一
緒にかかわって笑顔が広がります。

精神分裂病から統合失調症に、後見人制度
も確立されお陰様で日に日に当事者達にいろ
いろなサービスが充実していきます。

「お疲れ様」「ご苦労様でした」まだお一人

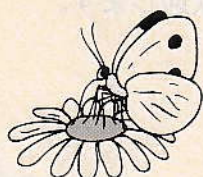


で悩んで居る方達にもぜひ笑顔の輪。社会参加の場として福祉的就労の場「ワークショップ野の花作業所」へ通所して欲しいと思いながら家路につきました。

あけぼの会 会員

私は今年の夏持病のリウマチの悪化で入院した。その時の事を娘が新聞に投稿した事を書きます。

『これから何年父母と一緒にいられるのかと考えると、もう親とけんかしている暇はないと思う。あと、10年か20年か、先のことのようできてきつとすぐに親と別れる日はくる。10代、20代と親不孝ばかりしてきた。両親ともに持て余すような娘だった。そんな自分を振り返ると恥ずかしくなる。だから、これから少しでも、両親に幸せだと感じさせてあげたい。不仲のまま、別れることになったら、それ以後一生後悔するだろう。私は障害を抱えているので、両親も私の先行きは心配だろうと思う。私自身も将来に不安を感じている。でも、だからこそ、今という時を大切にしなければならないのかもしれない。老いと死からだれも逃げられない。そのときが来るまで、せめて笑って毎日を過ごせる家庭にできれば、と思っている』



輪水会 会員

夜10時。プロジェクトX「執念のテレビ技術者魂30年の闘い」を観終えたところである。『テレビの父』といわれた高柳健次郎のテレビを開発するまでの話であった。世界初

の「動く映像を遠くの人に見せる」ことに成功したのである。始め1人で研究していたが限界を感じ、まもなく200人のプロジェクトチームを結成し、ついには世界初のテレビ放送を実現したのであった。「強い信念があればできないことはない」ということだったのか。

精神の病は原因も分からず、治療法も完成されず、そして家族は右往左往しているばかりです。しかし、これを何とかしないことには只々日が過ぎていくだけです。今、一家族にとって成すべきことはあまりに多すぎて抱えきれません。例えば本人の調子が悪いというので聞いてやる……（これだけでも私の頭は一杯になってしまいます）。こういう時それは①病気のせいなのか②薬が強すぎるのか③薬が弱すぎるのか④薬の副作用のためか⑤薬の量が多すぎるのか⑥薬の種類（低力価薬・高力価薬・旧薬・新薬・副作用止め薬・気分安定薬・睡眠薬・抗不安薬・抗うつ薬）のせいなのか⑦薬の組み合わせのせいなのか⑧高E Eのためなのか、といろいろ推測されるわけです。そしてこれらをもとに先生の①薬の量を加減してもらう②薬の種類を減らしてもらう③薬の種類を変えてもらう、などと話をする事ができます。但し、それには勉強が必要です。みんなで同じことを勉強するよりも私は薬のこと、あなたは施設のこと、また別の人は制度のことと専門制をとって能率的に勉強をしていきます。そしてその結果を皆さんに発表する。そうすれば多くの情報や知識が短期間で身につけられるのではないかと思います。強いては本人のためになるのではないかとテレビを観ながら思った次第です。

会員数は年間平均12～13人で比較的高齢の方が多く、定例会に出席されるのは、女性が多いです。

また作業所を持たない家族会であるため、家族会本来の活動を大事にしています。

話し合われる話題は

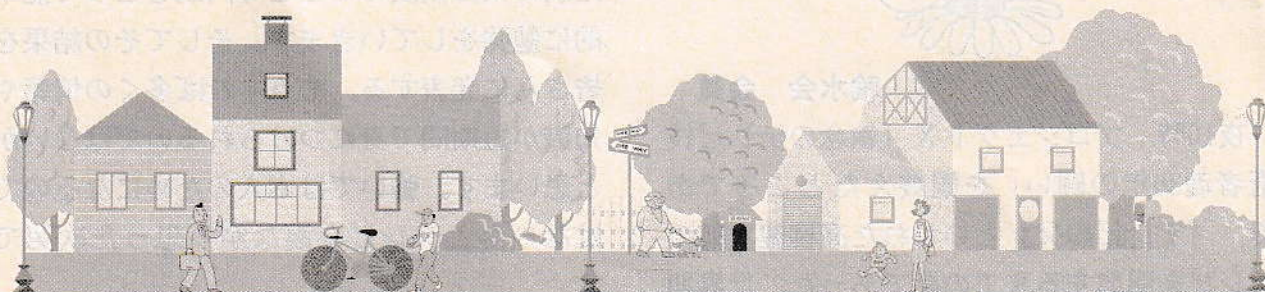
- ・ 家族の健康問題
- ・ 子どもについての悩みや喜び
- ・ 家族および子どもの加齢に伴い、親亡きあとの住い、グループホーム、家族も含めた住居の問題
- ・ 働く場所、生活保護、老齢年金、障害年金などの制度や経済問題
- ・ 遺産相続や法定相続人などの法律の問題

お互い経験に基づいた話で、例会の2時間の殆どがこうした話で終わります。

これこそ「家族会のピアカウンセリング」ではないかと思います。

例会では、出席した会員は必ず自分の思いを発言しています。

とても明るい家族会です。ビジターでご参加くださることを歓迎します。



初めてのシネコン

のぞみ会 笠 島 和 夫

複合映画館の進出により、香林坊の「映画の灯」が消えて数年になりますが、先日、はじめて「シネコン」を観る気になりました。

今の私には、洋画の字幕にはついていけないし、アニメにもなじめぬし、ならば邦画しかなし。

館内は200人以下、昔とことなり入替制だが、シートはゆったりしているし、音響もよいし、駐車場もあるし、おまけにシニア券だと「1,000円」と経済的。

されど一般券だと「1,800円」とチト高いのでは？この作品「壬生義士伝」の文庫本、上下2冊よりも高いのだから。

それはそれとして、昔は2本立3本立興行があり、娯楽の主流であった映画をなつ

かしく感じました。

幕末の動乱期に、南部藩を脱藩し、新撰組として「死にたくないから人を切ります」と力強く生き、時流には抗しきれず切腹し、果てた吉村貫一郎のドラマ。

立派な剣士で家族への愛、故郷への想い。仲間の介錯で首を切り落すシーン等見せてもらいました。私は音楽が印象的でした。

この作品は「壬生狼士伝」でなく「壬生義士伝」であることに注目しよう。

時代の変遷期はドラマチックであります。来年のNHKの大河ドラマは新撰組が登場します。「歴史は勝った者がかく」といわれる。来年はどんな「誠」が登場するか、期待する一人です。

2月1日(土)から 休日・夜間の 精神科救急当番病院をご案内します

日曜日・祝日・年末年始の日中と夜間、

平日・土曜日の夜間の

精神科救急当番病院を電話でお知らせします。

電話 076(225)1499(24時間対応)

石川県 障害保健福祉課 電話076(225)1427

カタカナ文字のこれってなあに？

「ブレインバンク」とは

- ①脳細胞の中のたんぱく質の異常が統合失調症をはじめとする精神病の原因だと考えられる。
- ②そこで、24時間以内に提供された脳から先端技術を用いて解析したたんぱく質をコンピュータに取り込む。
- ③これを非精神病者の脳から抽出したたんぱく質と比較することで、
- ④精神病者の原因たんぱく質が明らかになれば、新しい薬物療法が開発可能になる。

(ぜんかれん誌 全家連 京都大会
第5分科会ブレインバンク報告から抜粋)

ブレインバンク連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
福島県立医科大学神経精神医学教室内
精神疾患死後脳バンク事務局
TEL (024) 548-2111 (内線) 2433
FAX (024) 548-6735 (高野)

セカンドオピニオンとは

今日の医療では、治療の方針・内容について患者さんが主治医に説明を求め、納得した上で治療を行うという考え方「インフォームドコンセント」が主流になっています。精神障害を持った人のように、自己決定する力が制限されている人の場合であれば、家族などがその決定を代行する、補佐することになります。セカンドオピニオンは、さらに自己決定を支えるために「はたして今受けている治療やリハビリテーションが最善かつ妥当なものであるか」を他の専門家（精神科医やソーシャルワーカーなど）の意見を聞くということです。そこで第2の意見も主治医と同じものであったら今の治療が「信頼できる」ものであるということがより客観的に証明されるわけです。

(ぜんかれん誌ハイ相談室ですより抜粋)

リハビリテーションとは

1981年に障害者インターナショナルが、「損傷を負った人に対して、身体的、精神的、かつまた社会的に最も適した機能水準の達成を可能とすることにより、各個人が自らの人生を変革してゆくための手段を提供してゆくことを目指し、かつ時間を限定したプロセス」と定義しました。

(ぜんかれん誌用語解説より抜粋)

アドボカシーとは

アドボカシーとは障害のある人などの権利や利益を代弁し、その権利・利益を擁護する活動のことをいいます。

個別的アドボカシーは個々人の具体的な権利や利益を擁護する活動です。その活動の範囲は、医療の面、福祉サービスの面、市民的な権利の面などあらゆる面におよびます。

これに対してシステムアドボカシーは制度自体の矛盾や欠陥を是正するための活動です。システムアドボカシーと個別的アドボカシーは車の両輪のようなもので、その両輪が機能してはじめて障害のある人など、社会的に無視されたり、差別されやすい人たちが、一般の人と同等の権利を享受できるようになり、差別や偏見のない社会の実現に近づいてゆくことができると考えられます。

(ぜんかれん誌用語解説より抜粋)

編集後記

日に日に暖かくなって参りました。皆様お元氣でしょうか。この号は久しぶりに家族からの投稿を特集しました。また、「私の楽しみ」というコーナーもつくりましたので、これから会員の皆様からの投稿をお待ちいたしております。

7月には石家連の30周年記念行事がありますね。楽しみながら、みんなで成功させましょう。